

令和6年度 学校経営にあたって

校長 土倉 新也

1 学校経営の基調

社会の急激な変化とともに、生徒の発達上の多様性や家庭環境の複雑性も増し、様々な困難や課題を抱える生徒が増える中、学校教育には、生徒の発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育が求められている。

そのため、本校では、本県の学校教育が目指す「豊かな人間性を育む学校教育」及び由利本荘市学校教育の基本目標「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」を踏まえ、「心の教育の充実」、「たくましく生き抜く心と体の育成」及び「基礎学力の向上」を基調とし、本校として育てたい資質・能力を具体化しながら学校経営を推進していきたい。

(1) 授業改善と生活改善 ～学校と家庭の両面で生徒の主体性を育てる～

① 「主体的、対話的で深い学び」の具現化

(生徒指導の実践上の4つの視点、思考力・判断力・表現力等)

② 生活記録「みなみ」を活用した自己管理能力の向上

(2) 学年・学級経営の充実 ～「俱学 俱働 俱進」を実現する教師集団～

① 企画委員会を軸とした情報交換と共通理解・共通実践

② 人材育成（キャリアステージに応じた主体的な研修受講と指導助言による資質能力の向上）

(3) 働き方改革 ～カリキュラム・マネジメントの推進～

① 業務のスリム化（生徒の主体的な姿に反映）

② 組織的・計画的な教育の質的向上

2 学校教育目標

「ゆたかに たくましく」 ～人間性を磨き、共に高め合う生徒の育成～

急激な社会の変化の中であっても、人間としての在り方を自分や仲間と探求しながら自己実現に向かって努力し続けることが「ゆたかに たくましく」生きる姿であると捉えている。

社会人として自立するため、自己の目標に向かって挑戦し、学び、働き続ける力、多様な人々と協調して生きていく力、その基礎となる学力を身に付けることを目指していきたい。

3 目指す姿

(1) 目指す生徒像と育てたい資質・能力

① 社会的自立を目指し、目標をもって挑戦する生徒

～主体的に物事に取り組み、様々なことに挑戦して自己の可能性を広げる力～

② 思いやりの心を持ち、互いに認め合いながら高め合う生徒

～人の気持ちを理解し、人と関わりながら学び続ける力～

③ 心と体を鍛え、生活と学びの質を高める生徒

～心身の健康に気を配り、社会の一員としてよりよい生き方を追求する力～

(2) 目指す教師像

① 生徒と共に学び、共に活動し、共に成長する人間味ある教師（～俱学・俱働・俱進～）

② 分かる授業づくりに努め、共に磨き合い、専門性を高める教師（同僚性）

③ 生徒理解に努め、生徒一人一人を愛し、生徒や家庭、地域から信頼される教師

(3) 目指す学校像

- 生徒にとって、学習内容がよく分かり、仲間と仲良く過ごせる魅力ある学校
- 教職員にとって、個々の持ち味を十分発揮できる、やりがいのある学校
- 保護者や地域にとって、安全・安心で願いを受け止めてくれる信頼ある学校

4 経営の重点と主な施策

(1) 確かな学力と高い志を育てる教育の充実

- ① 学習指導要領の趣旨を理解し、知識の質をさらに高め、確かな学力を育成
 - ア 資質・能力の三つの柱をバランスよく身に付けさせる「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善（深い学びにつながるコーディネート力）
 - イ 人と関わりながら新しいものを生み出すような非認知能力（創造性や協調性など）の育成（学びに向かう力・人間性）
 - ウ ICT等を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

② 地域を支え、地域に貢献できる人材の育成

- ア ふるさとへの理解を深める体験的な活動の推進
- イ 社会的自立を目指し、地域に根ざしたキャリア教育の充実

(2) 心と体を育み、自立を支える教育の充実

① 生徒が創る学校を目指した経営の推進（生徒理解に努める）

- ア 生徒の居場所づくりと一人一人に活躍の場の保障
- イ 「特別活動」と「特別の教科 道徳」の校内研修の充実
- ウ 生徒会・児童会が連携して一体的に取り組む活動の推進（小・中連携）

② 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の充実（生徒理解に努める）

- ア いじめ・不登校対策や、教育相談体制の充実
- イ 特別支援教育や人権教育の充実による互いを尊重し合う態度の育成
- ウ 生徒・保護者面談やケース会議等の充実（連携コーディネーターやSC、SSWの助言等の活用）

(3) 地域とともに取り組む多様な教育の展開

① 教職員の資質向上

- ア 教職員自ら受講計画を立て、自身の資質能力の向上を目指すとともに、管理職がその方向性等について指導助言（人事評価とリンクした明確な指標の設定と評価）
- イ 初任者研修、実践的指導力習得研修、中堅教諭等資質向上研修等を活用した校内研修の充実
- ウ 週1回の企画委員会を軸とした情報交換と共通理解・共通実践

② 家庭や地域との連携を密にした、開かれた学校と信頼される学校づくりの推進

- ア 保護者や地域の声を学校運営に活用するCSの推進
- イ 学校報、学年・学級だより、ホームページ等による積極的な情報発信

③ 働き方改革

- ア 教育計画や学校行事、PTA活動の見直し
- イ 部活動の複数担当制と外部コーチ・部活動指導員の活用